

# 特殊文字・特殊言語資料に関する取扱い及び解説

(平成23年12月9日版)

本取扱いでは、特殊文字・特殊言語資料について、書誌レコード作成上、基本方針を中心に取りまとめた。各事項の具体的なデータ記入の方法については、別途作成している「コーディングマニュアル」で規定する。

## 1. 適用範囲

本取扱いは、従来規則で取り扱い困難な特殊文字・特殊言語で書かれた資料を対象とする。すなわち、日本語および英語等のラテン文字以外で書かれた資料が対象となる。但し、別途規則が定められている文字、言語については対象とせず、当該規則で取り扱うものとする。平成21年10月現在別途規則が定められている文字、言語は以下のとおり。

- 中国語
- 韓国・朝鮮語
- アラビア文字
- タイ文字
- デーヴァナガリ文字

キリル文字、ギリシア語に関しては、別途規則が定められていないため、本取扱い及びコーディングマニュアルで取り扱うこととなる。

## 2. 適用する目録規則

特殊文字・特殊言語資料の登録においては、「英米目録規則第2版(1988年改訂, 1993年修正)」を適用する。

日本語、中国語、韓国・朝鮮語以外の資料については、「英米目録規則第2版(1988年改訂, 1993年修正)」を適用することとなる。

中国で出版されたチベット語の資料のように、奥付に中国語表記を持つ資料であっても、本文中の言語から中国語以外の資料とするのが適切と考えられる資料については、「英米目録規則第2版(1988年改訂, 1993年修正)」を適用し、標題紙にある原綴でのタイトル表記をTRに記述する形で書誌を作成する。

## 3. 目録用言語

特殊文字・特殊言語資料においては、目録用言語として英語を用いる。ただし、必要に応じて、目録対象資料の本文の言語を目録用言語として使用できる。

## 4. 記述に用いる文字

転記の原則に従い、原則として、記述対象資料に表示されているままの字体を使用する。目録システムにおいて使用可能な文字セット(目録システム用文字セット)ではない場合は翻字で入力することができる。

ただし、書字方向が右から左の文字のうち、数字のみ書字方向が逆になる場合は、転記の原則の例

外としてアラビア数字で記入する。なお、この場合、原綴をVTに記入する。

Modi script (マラーティー語で使用されていた、マラーティー語を表記する文字種) のように文字コードが未設定の文字種等は翻字で入力する。

基本的には転記の原則に従って入力できるが、特定の文字だけは文字コードが存在しない等の理由により入力できない場合においては、該当の文字だけを、LCの採用する方式に準じて、当該言語に応じた翻字形を「◆」で囲んで入力する。

数字についても転記の原則を適用し、巻冊次、親書誌番号など英米目録規則およびコーディングマニュアルで定める特定のフィールドを除いて、書かれている通りの文字種で記述する。検索時に、いわゆるアラビア数字で検索される可能性を考慮し、VTを追加することが望ましい。

文字コードの割り当てや翻字等の問題により、検索にゆれが生じると考えられる点について、正規化処理のシステム改造を行う。なお、正規化処理については、「NACSIS-CATにおける正規化処理について」\*を参照のこと。

\*平成23年度末公開予定

## 5. 原綴分かち書きの取扱い

特殊文字・特殊言語のうち、正書法で分かち書きをしない言語の書誌レコードにおいては、原綴の分かち書きをヨミフィールドに記録する。

分かち書きの単位は、原則として単語単位とする。連声する前と後とで表記が異なる場合は、連声する前の形を原綴の分かち書きとして記録する。

なお、正書法で分かち書きをする言語の書誌レコードにおいては、原綴の分かち書きは記録しない。

正書法で分かち書きをしない言語の書誌レコードにおいては、単語単位の検索を可能とするため、原綴の単語単位の分かち書きをヨミフィールド(TRR, VTR, CWR)に記録することとした。なお、正書法で分かち書きをする言語の書誌レコードにおいては、その必要がないため、ヨミフィールドは使用しない。

分かち書きについてその言語の一般的な原則と異なる表記がなされている資料については、書かれている通りの形を記録した上で、原則的な形は必要に応じてVTに記録することとする。

これら取扱いはアラビア文字資料、タイ文字資料、デーヴァナガリ文字資料の規則に準じている。

## 6. 翻字形の取扱い

特殊文字・特殊言語資料の書誌レコードにおいては、ALA-LC 翻字形をその他のヨミとして記録する。ALA-LC 翻字形以外の翻字、その他のヨミフィールドに記録できなかった翻字は、VT:RMに記録することができる。

また、ALA-LC 翻字形が適用できない場合は、他の翻字形を採用しても良いこととする。

ローマン・アルファベットによる翻字形は、ALA-LC の翻字表を基本とし、その他のヨミ(TRVR, VTRV, CWVR)フィールドに入力することとした。

そのため、VT:RMに翻字を記録していたもので、別途規則が定められていないもの(キリル文字等)は、今後はその他のヨミフィールドに翻字を記録することになる。

## 7. 既存データの取扱い

既存データについては、本取扱いにもとづき修正可能な参加館が修正を行う。

キリル文字資料, ギリシア語資料も, 本取扱いにもとづき修正可能な参加館が修正を行う。

## 8. 典拠の扱い

ALA-LC 翻字形を標目形とする。特殊文字・特殊言語による表記は, SF フィールドに記入する。また, ALA-LC 翻字形が適用できない場合は, 他の翻字形, 特殊文字・特殊言語による表記の順で採用することとする。

原則については, アラビア文字資料, タイ文字資料, デーヴァナガリ文字資料の規則に準じている。

## 9. 書誌レコードの登録例

### (1) ベンガル語 (ベンガル文字)

VOL: 1. খণ্ড

TR: অতীত জীবনের স্মৃতি / মোহাম্মদ আজরফ|||Atīta jībanera smṛti

ED: 1. প্রকাশ

PUB: ঢাকা : নওরোজ কিতাবিস্থান , 1987-

PHYS: 220 p. ; 22 cm

AL: \*Ājarapha, Mohāmmada, 1906- <DA16335176>

### (2) パンジャービー語 (グルムキー文字)

TR: ਬਾਬੇ ਮੋਹਨ ਵਾਲੀਆਂ ਪੋਥੀਆਂ / ਸੰਪਾਦਕ, ਗੁਰਸ਼ਰਨ ਕੌਰ ਜੱਗੀ|||Bābe Mohana wālīāṃ pothīāṃ

PUB: ਦਿੱਲੀ : ਆਰਸੀ ਪਬਲਿਸ਼ਰਜ਼ , 1987

PHYS: 58 p. ; 21 cm

AL: \*Jaggī, Gurasharana Kaura <DA14347141>